

ひろば 大代

No.479

令和元年6月号

大田市の人口
(R1.6.1 現在)

大田市	34,650人
内大代町	342人
男	151人
女	191人



いよいよはじまる 大代えびすの会(高齢者通いの場) 「近況報告」

大代えびすの会(協議会)

大代地区社会福祉協議会

代表 高村 清

大代えびすの会(高齢者通いの場)は今年3月7日に規約を制定し、正式に立ち上げることができました。そして、7月4日開所、いよいよ始まりです。市内27地域で18番目とのことです。

コーディネーター(利用者や当日の対応スタッフの調整、運営、プログラムの企画・調整、事業の周知・案内等を担当)を中心に、事務局担当者、スタッフ20数名の協力を得ての、開所の

運びとなっております。いづれも町内の人ですので安心してくださ



今更なのですが、「高齢者通いの場」では、利用者の皆様の閉じこもりの予防・解消を行い、介護予防(心身機能の維持・向上)に繋げることを目的としており、そのためには、

- ① 体を動かしてもらおう(運動機能維持・向上)
- ② 人と触れ合ってもらおう(社会交流)
- ③ 病気になるらないように(疾病予防)

との思いを中心に、利用者皆様の各位の健康維持につながる取り組みを行っています。

具体的には、体温・血圧・時には体重を測定、体操(大田市作成の0854-8体操)が必須となっております、他

はコーディネーターが試行錯誤しながら上記の目的を達成すべく皆様方に楽しんでもらえるように工夫して企画し

ておられます。

一方、この取り組みのため、スタッフの皆様は、他の地域で実践されている場所を訪れ、見学し、その様子を学習しました。大田市社会福祉協議会から大代まちづくりセンターでの「高齢者通いの場」について、専門家による「体操の目的・ポイントの解説・体力測定方法」の各研修を本番を想定しながら、また、市民会館で行われる「体調チェックの正しい測定と緊急時の対応」についての研修も受けられました。各自万全の体制で実施されるよう勉強されています。

大代えびすの会の始まりと同時に、利用される町民の方、また、お世話させていただくコーディネーターを中心に、事務局担当者、スタッフ20数名、

いずれも全員が初めてのことでありますが、利用される方及びお世話させていただく者の意見を合わ



せ、この高齢者通いの場が成功するよう「大代えびすの会（協議会）」がサポートさせていただきます。

蛇足ではありますが、この「高齢者通いの場」の設置については、平成28年10月から大田市がモデル事業を始め、その頃よりこの立ち上げについて、大代地区でどのようにすべきか地区社会福祉協議会の中で話し合いを行い（月1回の定例会）、大田市社会福祉協議会より他地域での立ち上げ時や、その後の各問題点の詳解を得て、いろいろな実現上の問題点を討議してきました。しかし、結論は総論賛成で各論については具体的な問題点が多く立ち上げまで時間を要しました。

利用者該当の方の中には、高齢者通いの場について、他地域の状況などいろいろ情報を得られ、この大代で、実際に立ち上がるのか不安のまま、今日を迎えておられる方もいらっしゃったと思われまます。そのような方には申し訳なく、今後の大代えびすの会に期待していただき、また、お世話させていただ

いくものに叱咤激励をいただければと思います。

今後、大代えびすの会が、毎回、成功裏に終わり、限りなく続くよう町民各位の皆様方のご理解と是非なる協力をお願いします。

関西高山会へ出席して

上飯谷 原田 守男



今年、今年号がかわり、令和元年となつて初めての関西高山会総会。センター長の佐藤哲朗様は体調不良で参加不可能、大代から私1人の参加となりました。

午前11時より始まり、会計報告、次年度の事業計画等々、東京石見高山会会長の市原幸文様の言葉に、今の時代「ひろば大代」をインターネットでも見られるものの、やはり活字での便りで届くのが楽しみであるとのこと。毎月の「ひろば大代」の出版は大変ではあると思いますが頑張ってください

との言葉でした。

前会長の山根金造様が『旭日双光章』の叙勲を平成30年の秋に受賞をされました。

「旭日章」は社会の様々な分野における功績を対象としている。

旭日双光章は自治功労といった地方自治体の議員、各都市の商工会の役員、業界団体の役員多種多様な功績者に授与されます。

講演では山根金造様が「ふる里を出て54年」という演題で自分の原点は「貧乏な百姓」であったと、お母さんの言葉に、「まじめに、きちんと挨拶、人の話をよく聞くこと。感謝すること」があり、受章の決め手はお母さんの言葉であったとのことでした。

また同じ年、私達の同級生の（旧姓田辺）宮本美保子様も浜田市金城町で緑綬褒章「社会奉仕活動功績」（食生活改善推進員）を授与され、その中で「漢字で『食』は人を良くすると書き、『生きる』ことは『食べる』こと。地道なボランティア活動を通じて、元氣

な地域づくりに貢献したい」と言っていました。

大代町を故郷として遠近各地、世界で活躍をされていると思うと誇らしく思っています。

会の終りに「故郷」を田中公道様の指揮のもと合唱して終わりかと思いきや田中公道様が急遽、オペラを2曲歌って下さいました。初めて聞くオペラ、その声量に圧倒され、またいつか機会がありましたら聞きに行きたいと思っています。参加者の皆様方のご健康ご活躍を願っています。

ふるさとの伝説

(其の1)

Ⅱ 大江高山 Ⅱ

大江高山はわが大代町の象徴であり、郷土の代名詞ともなっている。三瓶山に次ぐ標高808mの高峰であり、3紀から4紀の火山群(約2百万年前)と言われ、三瓶山の女性的であるのに反し、大江高山は極めて男性的であるとも言えよう。

頂上に立って視界に広がる絶景は

筆舌に尽くすことは出来ない。正に崇高な一幅の絵である。一望眼下に展げる起伏に富んだ山々や、日本海の水平線遠く浮かぶ島根半島、快晴の日などはその突端に白く蜘蛛の如き日御崎灯台、更には遙かに隠岐の島影を望み得る事さえ出来る。その昔、尾張族が本州中部の一角より来て、江川を遡り、更に支流を伝い来て、この山麓に開拓の鍬を入れたのが始まり(島根県誌)と言われ、古い歴史の中に伝説・遺跡も数多く秘められている。そのいくつかを紹介してみよう。

■ 山辺八代姫命神社

大江高山の中腹400m当りに鎮座します。この社は伝説によると、その昔、武田家十六代の祖の生来嫡子がなく、よってお伊勢さん(伊勢神宮)へ願をかけ、稀に見る美女を授かり、その御礼参りの折、分霊を勧請して邸内へ祀り、朝夕礼拝を怠らなかつたが、余りにもおそれ多いと、高山の頂上に社殿を造築し祀つたが頂上は風雨が強

く、社殿の損傷が激しき為、後に中腹に移し祀つたと。(現在地より100m位上段)

石見誌など記録によれば、延暦二年正月(西紀283年)大和山辺笹幡宮より勧請、祭神は天照皇大神、豊石応神(うづめのみこと)とあり、明治六年村社、境内に大年神社あり、尾張族の祭れる神社と記されている。

又、式内社として歴史古く、石見分座、大森城上神社、湯里霹靂神社、西田水上神社、仁万國分寺霹靂神社などがその中にある。

※記事は故松井主事が以前「郷土の伝説」として皆さんへ是非伝承したいものという事で聞き取り調査などをして編集されたものを掲載しています。

Ⅱ トピックス Ⅱ

お礼

★ハートフルロード及び草刈奉仕



大代高山会

去る6月2日(日)大田市一斉美化清掃の日に併せ、旧小学校周辺・校庭やハートフルロードの草刈奉仕をしていただきました。大変きれいになりました。有難うございました。



入り口もきれいになりました。

★杵つきよもぎ餅イベント

高山の里直売所

去る6月16日(日)恒例の泥落とし「よもぎ餅」イベントが直売所にて行なわれました。あいにくのお天気でしたが、

お餅は好評で完売いたしました。有難うございました。また、次回は7月14日(日)まき販売をいたしますのでよろしくお願い致します。



俳句

あすなる句会

椿 花田時子

今朝はまた 夏鶯の よく鳴けり

片蔭に ひっそり咲く 著我しやがの花

下市 今田文字

緑陰に 新年号の 話題かな

蛍来い 幼等遠い 街に住む

川上 岩田律枝

卯の花の 散り敷く道を 車行く

蛍火の ゆらりゆらりと 父母偲ぶ

上市 横田美恵子

またたびの 葉の白くなり 梅雨近し

夏蠟梅 咲くや形見の 寺の庭

椿 権原敏子

久しぶり 雨の降り出し 里閨ふ

美化の日や 町はきれいに 夏は来ぬ

夏のれん 書かねば忘れる
柿丸寿枝

蜘蛛の囀を 被りて愚痴の
ことばかり

切りもなし

7月行事予定



*** **

▼2日(火) JA料理教室

▼4日(木) 「えびすの会」開所式

▼7日(日) 福祉弁当

▼11日(木) 「えびすの会」

▼14日(日) 「まき」販売イベント

▼17日(火) 夏の例大祭「十七夜」

▼18日(木) 「えびすの会」

▼20日(土) 大代地区社協会議

▼21日(日) 参議院選挙日

▼23日(火) 連合自治会

▼25日(木) 「えびすの会」

※暑いのでこまめな水分補給を忘れないようにしましょう。